

ケイ子の 東奔西走日記

2023(令和5)年3月～
2024(令和6)年1月

3/4(土)盛岡市



「3.8 国際女性デー」のキャンペーンを実施。日本のジェンダーギャップ指数は146カ国中116位。男女ともに能力を発揮できる社会を!!

6/4(日)全国植樹祭・陸前高田



天皇陛下は「復興にたゆまない努力に敬意…」と長文を述べられ、またあの日を思い出す。大会テーマ「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」は、藤田若葉さん(江釣子中)の作品。

7/3(月)交通安全活動



児童生徒の挨拶で元気をいただく。「運転は ゆとりとマナーの二刀流」(交通安全標語)

7/14(金)JR北上線の
存続をめざす集会



JRはコロナで2年間は赤字だがまた黒字になり、内部留保も2兆円? 地方切り捨てを許さない!!

8/4(金)北上みちのく芸能まつり



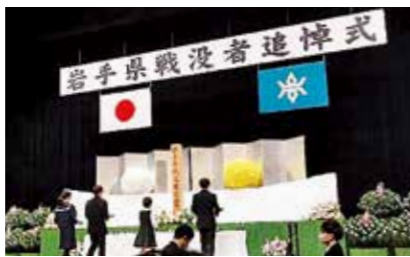
市民パレードに参加。やっぱり参加することに意義がある。



8月後半から県知事県議選
ご支援により当選!



10/14(土)岩手県戦没者追悼式



戦争を語り継ぐという趣旨で、遺族のひ孫世代も参加し献花するため土曜日開催に変更。
#戦争やめて!!

11/2(木)知事へ緊急要望



早期の物価高騰対策を求めるもの、国の補正予算が遅すぎ問題山積。

11/5(日)文化祭のステージ発表



コーラスの練習にほとんど参加できず、皆さんのリードで何とか…。

12/19(火)「(株)いわちく」を視察



畜産議員クラブの現地調査。紫波町の(株)いわちくの作業現場の見学と意見交換会があり、牛肉豚肉の輸出状況などの質疑が行われた。

12/22(金)江釣子学童の
クリスマス会



子どもたちの元気な姿がうれしい。感謝状を頂きました。

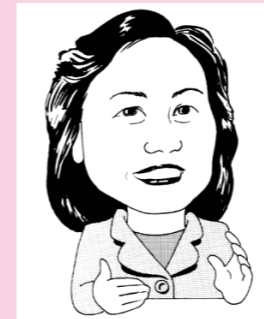
1/15(月)「議員ネット研修会」(東京)



自民党裏金問題の深刻さ、地震災害対応の遅さ、誰の方向を向いている政治なのか疑問だらけ。

平和で明るい社会を子どもたちへ・・・

岩手県議会議員 佐藤ケイ子



県議会レポート

No.14 2024年(令和6)2月

編集発行：岩手県議会議員 佐藤ケイ子
事務所：北上市青柳町1丁目5-39 TEL:0197-72-7548 fax:72-7549
自宅：北上市下江釣子16-154-3 (TEL&fax 0197-77-2126)
E-mail: keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.sato2007.com/

ご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の政策づくりに生かしてまいります。

ごあいさつ

昨年は、県議選3期目の挑戦に際し、猛暑の中、ご協力ご支援をいただき、お陰様で当選することができました。感謝申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

地震・事故・火災



雪の無い穏やかな正月かと思ったら、元旦から能登半島での大地震、羽田空港での事故、北九州での大火事と衝撃的な災害が続きました。

石川県では多数の犠牲者や建物・道路・ライフラインの崩壊など壊滅的な被害の報道に心を痛めるばかりです。被災地ではこの寒空の中で、水も食料も電気も不十分で、道路も寸断される過酷な状況のようですが、一刻も早く救援が行き届くことを望みます。

また、復興までは長い期間も要すると思われます。東日本大震災で頂いた多くの支援にお返しできるよう、県内自治体はもとより、個人でもできる支援活動を意識しあいたいと思うものです。岩手県は能登町の支援を担当することになり、職員等が派遣されています。寒さと危険な中で復旧作業にあたっておられる多くの関係者の皆さまに敬意を表します。

私たちの地域は、幸いにも災害がほとんど暮らしていますが、天災はいつ来るのかわかりません。多種多様な災害に、自分の命を守り他人の命も守るためにも、日頃からの防災グッズ等の準備を心がけたいものです。

パーティー券裏金問題

自民党派閥の裏金問題について、達増知事は「日本の政治の劣化が進んでいる。内閣は総辞職をして自民党は下野し、徹底的な党改革をした方がいい」といち早く発言しました。このように、はっきり言ってくれる知事は他にいますでしょうか。知事選での県民の選択は正しかったと確信しています。

また、12月12日に岩手県議会は「政治資金規正法違反疑惑の徹底解明を求める意見書」を全会一致で可決し、全国に先駆けて県民の意思を表明しました。

「政治刷新本部」の報道が続きますが、「ルールを犯す人がルールを決める」「刷新されるべき方々」「茶番劇」・・・と厳しい世論です。派閥解消で責任をウヤムヤにしてはなりません。政権交代しない限り、正当な裁きはできないのではないのでしょうか。

「県政報告会&新春のつどい」

日時：2024(令和6)年 2月23日(金) (休日)
午後5時から (後援会総会は、午後4時開催)

場所：プランニュー北上

会費：4,000円

ゲスト：参議院議員 横沢 たかのり 様ほか
皆様のご参加をお待ちしております。

準備の都合上、2月13日までに連絡をお願いします。

連絡先 TEL: 0197-72-7548

FAX: 0197-72-7549

E-Mail: keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp

主な役職

岩手県議会議員(環境福祉委員会、人口減少若者女性支援調査特別委員会、県政調査会会長)、自治労岩手県本部政治連盟会長、北上市職労特別執行委員、立憲民主党岩手県連副幹事長、社民フォーラム岩手代表代行

2023(令和5)年 12月 議会
一般質問しました
(紙面の都合上、項目のみを掲載しました)



1. 物価高騰・経済対策について

国の物価高騰対策は少額過ぎで遅すぎた。更には基金新設や防衛費増額などバラマキだ。真に支援を必要とする家計・事業者への直接的・重点的な支援を。県内経済を循環させる各施策を向う。

- (1) 国の補正予算と物価高騰対策
- (2) ゼロゼロ融資の問題と県内中小企業の状況
- (3) 賃上げと経済循環
- (4) 外国人の誘客拡大に向けた今後の展開
- (5) 県産品の海外展開
- (6) 低所得世帯への給付金と市町村作業
- (7) 花巻上海便の再開
- (8) ALPS 処理水の影響

2. 物流・交通について

内陸から沿岸への道路整備で港湾活用の拡大を。バス・タクシーの運転手不足は深刻。地域の足を守る積極的な施策を。

- (1) 港湾活用
- (2) 道路整備促進(秋田道と釜石道の直線化)
- (3) バス運転手不足への対応
- (4) 路線バスにおける自動運転の研究



3. 農業政策について

食料の輸入依存政策で農業の衰退は危機的。農業の再生・食料自給率の向上へ、国は政策転換を図るべき。国の畑地化推進策は手切れ金のようなもので課題が多すぎるのではないかと。飼料の地域内供給を高める取り組みを。

- (1) 世界の食料問題と日本の農政
- (2) 畑地化支援策の課題
- (3) 飼料用作物の増産



4. 働き方改革について

超過勤務の上限規定が実施され5年だが、改善されていない。実効性のある長時間労働の是正を。スクールサポートスタッフが他県に比較して少なすぎるので改善を。新年度から医師の時間外労働の上限規制が行われるが、対応できるか。

- (1) 県職員の働き方
- (2) 教職員の働き方
- (3) 医師の働き方改革



5. 介護保険制度について

時間がなく割愛し、常任委員会で質疑。

6. 若者・女性支援について

いわて産業人材奨学金返還支援制度の対象業種拡大と要件緩和で拡充を。困難女性支援法が施行されるが対応は大丈夫か。

- (1) 奨学金返還支援制度
- (2) 困難女性支援法施行への対応
- (3) 婦人相談所等の状況

7. 文化スポーツの振興について

本県にはユネスコ無形文化遺産の民俗芸能や多数の伝統芸能があり誇りであるが、活動支援や発信が不足しているのではないかと。いわてグルージャ盛岡の新スタジアム建設に支援を。

- (1) 民俗芸能の振興
- (2) 芸能団体への支援
- (3) いわてグルージャ盛岡のスタジアム整備



県政調査会 (会長：佐藤ケイ子) 1月11日(木)

「日本の農業・食料危機」と題して、農業経済学の第一人者の鈴木宣弘先生(東大教授)の講演をいただきました。

日本の食料自給率は38%と言うが、飼料・肥料等を含めれば実質は10%以下で、海外情報によっては世界で最初に飢えるのは日本。輸入依存から食料安全保障に政策を転換しなければ、国民の命は守れない。欧州や米国では農家の所得補償や、消費者支援で農業を支えている。また、自国民の食料確保のために、インドのように輸出規制する国が30か国という時代に、輸入依存政策は間違いである。

今、日本の農家・酪農家は深刻な状況で廃業が進んでいるが、政府は農水予算の削減ばかりで、農水予算は2兆3,000億円と最低になった。水田活用直接支払交付金の削減に対する畑地化推進補助金は「手切れ金」である。防衛費5年43兆円でトマホークを買うより、食料安全保障が大事。また、輸入穀物の残留農薬も問題だ。命の源の食料を守るため、「今だけ、金だけ、自分だけ」の農政を転換させよう、と話されました。

改めて、日本の農業や食料問題への危機感をお聞きし、農政転換の必要性を強く感じました。



講師の鈴木宣弘先生と共に



県政調査会の会長として進行役

決算特別委員会 質問項目

10月23日から11月1日まで、決算特別委員会が行われ、連日質疑を行いました。

1. 総務部；①職員の状況、②岩手県公共施設等総合管理計画
2. ふるさと振興部；①市町村の行財政、②路線バスの維持
3. 警察本部；①警察官の採用活動
4. 教育委員会；①「60プラスプロジェクト」、②学校給食
5. 商工労働観光部；①県内就職の状況、②時間外労働の問題
6. 労働委員会；労働相談の状況
7. 農林水産部；①水稲について、②多面的機能支払交付金、③中山間地域等直接支払交付金
8. 県土整備部；①県営住宅、②除雪

5.10.27 岩手日日

給食無償化10市町村
無償化するには約4億円が必要となる見込みだが、現時点で国の財政支援は少なく、実現は厳しい状況にある。

県議会は、都道府県教育委員会に、給食費の無償化について、国に要望するよう求めた。国は、給食費の負担の軽減を図るため、22年度から給食費の負担の軽減を図る方針を示している。国は、給食費の負担の軽減を図るため、22年度から給食費の負担の軽減を図る方針を示している。

全国に先がけて意見書可決

55年11月29日 岩手日日

ガザ休戦を求める決議を可決
県議会12月定例会開会
県議会12月定例会は28日開会した。県が2023年度一般会計補正予算案を盛り込んだ。ほかに、パレスチナ自衛隊方地区におけるイスラエル軍とイスラム組織ハマスとの衝突によるガザ地区に人命が深刻な被害を被る恐れがあること、即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議を全会一致で可決した。

県議会12月定例会は28日開会した。県が2023年度一般会計補正予算案を盛り込んだ。ほかに、パレスチナ自衛隊方地区におけるイスラエル軍とイスラム組織ハマスとの衝突によるガザ地区に人命が深刻な被害を被る恐れがあること、即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議を全会一致で可決した。

「総辞職」下野し
「自派は出直し」
「総辞職」下野し
「自派は出直し」

「総辞職」下野し
「自派は出直し」

「総辞職」下野し
「自派は出直し」